

## 視点(2109)

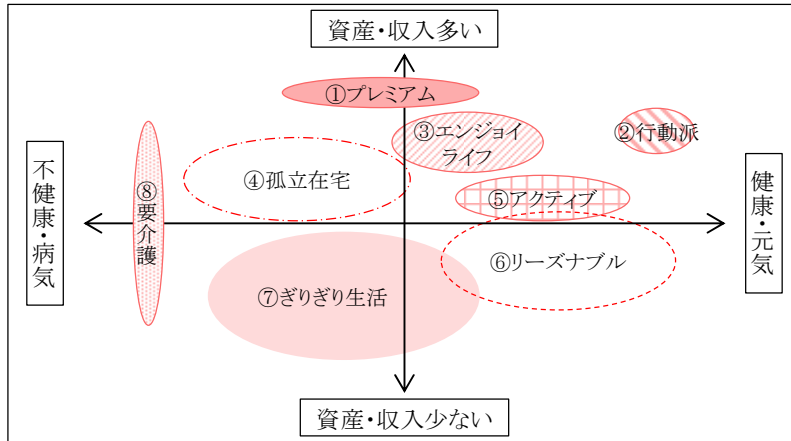
(生活様式と消費心理編)

### シニアのタイプとライフスタイル (その1) !!

— 日本元気シニア総研顧問・富田眞司氏論 —

日経MJの「再考シニア消費」(富田眞司氏)によるシニアのタイプとライフスタイル分類は次の通りです(明解にシニアを分析していますので参考にさせていただきました)。

富田眞司氏が想定するシニア、8つのライフスタイル分析



タイプ	内容
① プレミアムシニア	1億円以上の資産を保有する。資産は多いが運動不足もあり、健康状態は普通からやや悪い。資産運用や活用などへの関心が高く、株・外貨・賃貸住宅・別荘・会員権などの多くの資産を保有する。経済記事を読み、取引先金融機関から金融情報の提供を受けている。
② 行動派シニア	保有資産もあり元気で活動的。ゴルフ会員権・自動車などを保有、海外旅行にも出かける。クルーズ旅行やゴルフなどを愛好、消費性向が高く男性が多い。高品質商品やサービス需要などが期待できる。参加組織からの会員誌・専門雑誌・一般紙・スマホなどを活用し、情報収集している。
③ エンジョイライフシニア	保有資産が多く、手芸・お茶・花・観劇などの趣味、旅行、仲間とのグルメなどを楽しむ女性が多い。専門店や高級百貨店での買物、有名ホテル利用など消費性向が高く、高品質商品やサービス消費が期待できる。参加組織からの会員誌・専門雑誌・一般紙・広報誌・スマホなどを活用し、情報を収集している。
④ 孤自在宅シニア	定年後、自宅に閉じこもり、人との接触や会話も少ない。保有資産はあるものの外出しないため、運動不足になり健康が気がかりだ。テレビや新聞・広報誌などを読むものの、孤立しているため情報難民になる可能性が高い。
⑤ アクティブシニア	リタイア後も仕事や社会貢献活動などで活躍する生涯現役、収入も期待できる。専門能力を保有し広い人脈をもち精力的に活動している。旅行・趣味・スポーツなどにも出費、パーティーや勉強会にも積極的に参加、仕事や社会貢献活動も行う。パソコンやスマホを活用、雑誌・新聞などから多面的に情報を収集している。
⑥ リーズナブルシニア	保有資産や受給年金が少ないものの、健康で活動的な生活を送っている。出費を減らすため、散歩や格安参加できる趣味や旅行・公共団体主催のイベントに参加するなど元気な生活をおくる。プレゼント・割引・クーポンなどの購入しやすい料金など価格メリットへの関心が高く、一般紙や広報誌などから情報を収集している。
⑦ ぎりぎり生活シニア	保有資産や年金受給も少ないため厳しい生活を余儀なくされている。在宅が多く引きこもりがちで健康への心配もある。生活が厳しいため、社会保障対策が必要となる。テレビや広報誌から情報を得ている。
⑧ 要介護シニア	介護保険を利用し、在宅介護や介護施設を利用している。今後も増加し続けるため、社会保障など介護体制の充実が求められる。情報は家族や看護関係者などから得ることが多い。

(株)ダイナミックマーケティング社<sup>7</sup>  
代表 六 車 秀 之